

「下北沢商店街の人気の秘密を探そう」 —下北沢商店街のまちのイメージに合ったお店を出してみよう—

(総授業時数：25 時間)

実施学年、教科等

第3学年～第4学年 総合的な学習の時間

単元の目標

- (1) 地元の商店街についてマーケット・リサーチを行い、まちのイメージに合ったお店を出す計画を立てることを通して、お金を有効に使っていくことの大切さに気付くことができるようにする。
- (2) 商店街への出店計画を練ることを通して、働くことの大切さややりがい、自己の生き方について考えることができるようにする。
- (3) 地元の商店街についての実態調査や出店計画の立案などを通して、自分たちの住む地域に愛着をもつことができるようにする。

学習の評価

- (1) 商店街への出店計画を話し合うことを通して、お店を開くこと、お店を経営していくことの難しさを知り、お金を有効に使っていくことの大切さに気付いている。
- (2) 商店街への出店計画を練ることを通して、起業的側面の一端にふれ、今後の自己の生き方を考えている。
- (3) 地域にある下北沢商店街の実態調査や出店計画の立案などの学習を通して地域に愛着をもつようになっている。

評価方法…発言、ワークシートの記述、話し合い活動、調査活動計画・実行・反省、プレゼン作成、プレゼンテーション、振り返りなどをもとに評価を行う。

展開の特色

- (1) 本単元では、従来、中学年社会科で行われている「生産・販売」に関する学習「商店やスーパーマーケット」を扱う単元において、「お金」をクローズアップして取り上げ、総合的な学習の時間として行う。
- (2) 最終的には、地元の商店街にお店を開く計画を立て、銀行関係者等のプロの方にプレゼンテーションを行い、評価してもらうという実践的な授業作りを目指す。「お金」を介在させることによって、地域社会の一員としての自覚、地域に対する誇りと愛情をもつようにするという、目標が達成できるようにする。
- (3) 上記のように学年の発達・系統を意識し、「お金」を介在させた金融教育を実践することで、従来の金銭教育・消費者教育を網羅できるばかりか、新しい時代に対応した金融・経済教育、キャリア教育、社会保障(年金)教育に至るまでの素地を育てることができる。

その他

事前準備

- ・ゲストティーチャーとの単元のねらいや児童の実態についての綿密な打ち合わせが必要である。
- ・商店会理事長などの協力を得て、回覧板を回してもらったり、実践への協力依頼の告知をしてもらったりする。

「学校における金融教育の年齢層別目標」の該当項目

Aーア・ウ、Bーイ、Dーア・イ・ウ

学習内容のキーワード

地域、商店街、出店計画、起業、費用、借入と返済、信用と責任、努力と工夫、生き方

●指導計画

時数	ねらい	●学習活動	・学習内容	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	・その他(資料等)
1	下北沢商店街に対するイメージをもち、学習のゴールをイメージできる。	●事前調査・アンケート	●下北沢商店街の利用経験やそのときの様子を発表し合う。 ・人がたくさんいた ・日曜・祭りが多かった ・にぎやかだった ・若者が多かった ・夕方が込んでいる ・人気のあるお店がありそう	◆下北沢商店街に人が集まる理由→人気の秘密→地域のイメージ→出店するお店(お金の必要性)という流れを押さえる。	★お金や買い物経験、銀行の仕事などに関するアンケート実態調査を行い、学習後の変容に役立てる。 ★学習のゴールをイメージできるようにする。	・アンケート
2 3	下北沢南口商店街振興組理事長から商店街の歴史などについて話を聞き、地域のイメージを広げる。	●商店街の歴史と今の様子について商店街振興組理事長から話を聞く。 ・地域の歴史 ・流行る理由 ・落書きの様子について ・下北沢が人気がある理由	・理事長の考える下北のイメージ ・現在の状況 ・お客さんを集める工夫 ・人気のあるお店はどこですか ・ホームページの工夫	◆下北沢商店街の地図、下北沢南口商店街の一日の来街者数、人気のある店などから、出店するお店をイメージできるようにする。	★自分なりの地域のイメージだけでなく第三者のイメージを知ることの大切さを強調する。	・地域マップ ・社会科「うつりかわり」
4 5 6	下北沢商店街にマーケット・リサーチに出かけ、地域に対するイメージを広げ店のニーズをとらえる。	●地域のよさについて客、店の従業員、店長、職員、通行人などにインタビューをする計画を立て実行する。 ・よく行く店 ・どんな店が必要か ・地域のイメージ ・今日はどんな用事で来たのか ・月に何回くらい来ますか	・地域の人気の秘密 ・改善点 ・一日の乗降客数はどれくらいですか ・どこから来ましたか	◆インタビューの内容から開きたいお店を絞ることができるようにする。	★第三者イメージ調査の対象を広げることで地域のイメージを再構築し、出したいお店を絞っていけるようにする。	・理事長を通して商店街に回覧板配付
下北沢商店街やお店のことを調べて、お店を出す計画を立てよう！						
7 8	日本銀行職員から簡単な経済の話の聞きお店を開くことに役立てる。	●簡単な経済、銀行の仕事、ものの値段の決めり方について日本銀行職員から話を聞く。 ・お金とは ・日本国の信用 ・銀行の仕事 ・円高ドル安	・お金の歴史 ・値段の決めり方 ・お金の循環 ・日本銀行券	◆お金の秘密、値段の決めり方、貯金の行方、銀行の仕事、お金が循環していることなどを話の内容に盛り込んでもらう。	★簡単な経済活動、特に銀行の役割とお金の循環について子供たちにも理解できるような内容で話をしてもらおうようにお願いします。	・金融広報ビデオ
9 10	下北沢南口商店街振興組副理事長から食品店を例に開店について話を聞き注意点を理解する。	●商店街のイメージやお店の苦勞などについて商店街副理事長から話を聞く。 ・ラーメン屋を開く場合 ・維持していくために必要なこと ・開くときに必要なお金	・準備するもの ・個人商店とフランチャイズの違い ・維持していくために必要なお金	◆家賃、光熱費、人件費、材料費、宣伝費、競合店、回転率などお金にかかわる内容を中心に話をしてもらおう。	★子供たちが見落としそうな費用について話をしてもらい、諸費用がたくさんかかることに気付くようにする。	
11 12	開きたいお店を出し合い、地域のイメージやマーケット・リサーチの結果を反映してお店を決めることができる。	●これまでの調査活動をもとにどんなお店を開きたいか出し合い、4つ程度に絞る。 ・キャッチフレーズ ・食べ物屋さん関係 ・スポーツ関係 ・小物雑貨関係 ・洋服屋さん関係	・ウリ ・ラーメン ・寿司 ・ジンギスカン ・野球 ・プラモデル屋さん ・文房具屋さん ・子供服屋	◆地域のイメージ、マーケット・リサーチから開きたいお店が決定できるようにする。	★自分の好きな店などではなく、これまでの学習の成果が反映されるように声かけをしていく。	

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

●指導計画

時数	ねらい	●学習活動	・学習内容	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	・その他(資料等)
13 14	信用金庫の本店長からお店を出すときの注意点を聞き研修シートにまとめることができる。	●お店を出すときのポイントについて地元信用金庫の方から話を聞く。	・立地条件、家賃 ・人件費、材料費 ・ウリ、特色 ・返済計画 ・借りる方法だけを考えるのではなく返す方法も考える。	◆お店を開くに当たって必要となるお金のすべてを考え、どれだけ借りてどのような計画で返していくかがイメージできるように工夫する。	★信用金庫が行う実際のお店対象の研修シートを子供が使えるように簡単なものに改良して提示する。 ★働くことの楽しさ、お店を開くことへの夢なども大切にす。	・研修シート
15 16	商店街の店長から実際の経験をもとにした開店に向けての注意点を聞き、分からないところを明確にする。	●お店を出すときのポイントについて商店街の店長から話を聞く。	・下北沢のイメージ ・仕入れから販売まで ・諸経費 ・開店から維持	◆開店資金、返済資金、返済計画、値段、宣伝費、1カ月にかかる諸経費、維持していくということ等の費用を考えさせる。	★お店を開くことはそんなに簡単なものではないというような厳しい話をしてもらう。 ★働くことの大切さややりがいなどにも触れてもらうようにする。	・完成した研修シート
17	開店に向けての分からないところや不安な部分を、開きたいお店の同業種店にインタビューに行き解決する。	●出店計画のために分からないことを商店街に再調査に出かける。	・カフェ …… 食べ物関係のお店 ・スポーツ店 …… スポーツ用品店や靴屋さん ・小物雑貨店 …… 小物を扱っているお店 ・子供服屋 …… 古着屋さんや洋服屋さん	◆値段のつけ方、実際の費用、困っていること、よかったことなどを話の内容に仕込んでもらうようにする。	★開店計画を立てるという段階になって不安なところや分からないところを同業種店に質問できるように時間を設定する。	
18 19	グループごとに店計画を話し合う。	●出したいお店のグループごとに店計画を立てる。	・ネーミング ・工夫やウリ ・信用と責任 …… 自分たちの出すお店の信用と責任とは何か ・人一倍の努力 …… いかにか支出を減らし収入を増やす努力をするか ・オリジナル性 …… 他のお店にはない独自の特徴	◆収入-支出=利益ということから、いかにして収入を増やし、支出を減らす工夫をするかということを考えることができるようにする。	★ゲストティーチャーの話などで共通していたお金を扱う場合の信用と責任、他店とは違うオリジナル性、他のお店がしていない人一倍の努力という3つをキーワードにする。	・プレゼン作成の手引き ・国語「伝えたいこと」
20 21 22 23	出店計画をもとに各グループで役割分担してプレゼンテーション・シートを作成する。	●出店のためのプレゼンテーション・シートを作成する。	・託児所カフェ …… 幼児を連れて気軽に入ることができる ・スポーツ・マッサージ店 …… スポーツをしてマッサージなども受けられる ・古着子供服店 …… 古着や子供服のフリーマーケット風お店 ・文房具・小物雑貨店 …… 文房具を中心として小物を置いている	◆収入を増やす工夫、支出を減らす努力、返済のための将来性を分かりやすく簡潔に示すように伝える。	★前時までの3つのキーワードを中心に、収入-支出=利益という原点に立ち戻るようにする。	・プレゼン作成ソフト
24	各自が分担したシートをもとに評価者に自分たちの店の主張をプレゼンする。	●プロの専門家の方を前に出店発表会をする。	・お金を扱うという信用と責任 ・他店とは違うオリジナル性 ・他のお店がしていない人一倍の努力 ●プロの方からのアドバイスを受ける。	◆「私たちがのお店は収入を増やすためにこのような工夫があり、支出を減らすためにはこのような努力をしていき、だから私たちがのお店にお金を貸してください」というアピールができるようにする。	★アピール性のあるプレゼンシートの作成の仕方、効果的なプレゼンテーションの方法などを助言する。	
25	学習のまとめをする。	●プレゼンテーションで指摘された課題について話し合う。	●学習を振り返る。 ・分かったこと ●アンケート再調査	◆お金至上主義、お金がすべてという結論に陥らないように、しかし、「お金の大切さ」が分かり、「お金では得られないもの」に気付くようまとめをする。	★自己の生き方などのねらいにつなげる声かけをする。	アンケート ・道徳「お母さんの請求書」

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育のねらいと方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育のねらいと方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

●教材・資料等 (授業で用いる教材や資料、ワークシート等)

第4・13・14時のワークシート

第4学年「代沢っ子」ワークシート2—③

—下北沢南口商店街の人気の秘密を調べて、お店を出す計画を立てよう!—

4年組 ()

○まずは、いろいろな人の意見を聞いてみよう

—下北沢商店街のよさをいろいろな人にインタビューしよう!—

だれに聞けばいいと思いますか



どんなことを聞けばいいですか



○グループで主な役割分担をしよう

○インタビューの仕方を話し合おう

はじめに……

しつもん……

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	

おわりに……

第4学年代沢っ子ワークシート2—④ —下北沢南口商店街の人気の秘密を調べて、お店を出す計画を立てよう—

4年組 ()

どんな費用がかかるとおもいますか

どんなお客さんが来るとおもいますか

一人いくらつかってほしいですか

お店

1ヶ月何日間働きますか

どこに出したいですか

お金をどうやって集めますか

あなたのお店のウリ (いいところ) は何ですか

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料